



# 福島ロータリークラブ会報

【事務所】福島市栄町 5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日 12:30  
 【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011  
 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com



<http://www.f-rotary.com/>

## 本日のプログラム 新会員スピーチ

（株）中合 代表取締役社長 黒崎浩一 会員

### 会長あいさつ

#### 第 7 回会長挨拶

古侯 猛 会長



超大型で、太平洋側から東北に初めて上陸した台風の被害も県北地方は、幸いにして最小限の被害ですんだようであり、私の会社も商売柄、雨漏りの苦情や修理依頼で、てんてこ舞いの状態でした。

会員の皆様もいかがだったでしょうか。

さて、本日は例会について少しお話しをしたいと思います。これはあるロータリアンの言葉であります、「ロータリーの例会では 地域社会の縮図がそこに再現される。即ち、業界の代表が互いに啓発されて高い境地を望み、学び得た高い境地をもって自己の職場、家族、そして社会を潤すもので、例会に欠席すると自己開発のチャンスを失うことになるが、これは自分の損失だけではなく、社会への責任も負わなくてはならない」私にとっては大変崇高な言葉であります、妙に刺激された言葉でありました。

ロータリークラブの会員は、例会出席を義務付けられていますが、義務ということではなくて、例会に出席できることを我々に与えられた特典と考えていただき、これをフルに活用することによって、さらにロータリーというものを身につけることになり、これによってロータリーより最大限の利益を得ることが出来るのではないかと考えております。どうか今後も積極的に例会参加をお願いいたします。今年度は何度もご案内のとおり先の規定審議会の決定により、例会開催については、その週に一般に認められた祝日等が含まれる場合は休会としていますが、このような例会開催の緩和は、一方においては、米山梅吉氏が述べられている「ロータリーの例会は人生の道場である」という、ある意味ロータリーの原点から遠ざかる危険というか、懸念に駆られる思いもありますが、一番大切なことは、我々一人ひとりが、毎回の例会を大切に、早くロータリーの理念を自分のものとする事だと考えております。

最後にお願いというか、ご提案がございます。当クラ

### 例会次第

開会点鐘 古侯 猛 会長

ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 丹治正博 会員

「四つのテスト」唱和

菅野孝志 会員

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

福島中央 RC 芳賀 裕 様

米山奨学生 ジューフンさん

9月誕生祝い

会長あいさつ 古侯 猛 会長

食事

幹事報告 菅野裕一 幹事

各委員会報告

●広報マルチメディア雑誌小委員会

「友9月号」紹介 今井理基夫 小委員長

●プログラム・ニコニコBOX小委員会

ニコニコBOX 菅沼 裕 委員

◎本日のプログラム

閉会点鐘 古侯 猛 会長



### 例会プログラムのご案内

9月15日(木) 12:30 ~ 辰巳屋

ガバナー公式訪問前クラブ協議会

9月22日(木) 祝日の週のため休会

9月29日(木) 辰巳屋

佐久間英一ガバナー公式訪問例会

◎会長・幹事会 / 9:30 ◎クラブ協議会 / 10:30 ◎例会 / 12:30

ブには、多くのベテラン会員の皆様が在籍しておられます。いわゆる出席規定の免除に該当される方々であります。ロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上、さらにひとつまたは複数のクラブにおいて20年以上の在籍の方々であります。福島ロータリークラブ定款により、出席規定の適用を免除されたい希望を書面をもってクラブ幹事に通告し、理事会で承認されれば、免除となります。どうか誤解のないよう、ご理解を賜りまして、当クラブの出席率向上にご協力をお願いをしまして、本日の会長挨拶といたします。

## 新会員スピーチ

(株)中合 代表取締役社長

黒崎浩一 会員



株式会社 中合の黒崎でございます。本日、福島ロータリークラブの貴重なお時間を頂きありがとうございます。又、常日頃中合をご愛顧頂きましてありがとうございます。本日のスピーチはどのような事をお話したら良いのか？と考えていた折「ロータリーの心」という表題でクラロンの創業社長田中善六様の講演内容を氏川会員より頂き、その中で非常に感銘を受けたメッセージ念頭において整理をしてみました。

「ロータリアンになってお互いにこの人生において蓄積したものをさらけ出して相手に与える。又相手からも与えられて自分を磨く。未だ会った事のない他人同士がロータリーの例会に出席して友人になっていく。これがロータリーの例会です」「そして楽しむ事が一番大切である」

本日は自己紹介、中合百貨店の将来像、福島ユニテッドの地域ウォンについてお時間を頂きたく思います。

出身は岐阜県高山市で昭和30年生まれです。家族は妻と子供二人愛犬1匹です。中学卒業後から親許を離れて一人暮らしをしてきました。理由は進学校に入れる為という事でしたが、私には自由な時間が多すぎて大きく親の期待を裏切る結果で両親には申し訳なく思っています。自己管理が苦手な性格で、社会人になってからは常に自分の性格を前提としてどうあるべきかを気をつけながら日々の生活を過ごしています。

大学卒業後就職もあまり深い考えもなく、最初に会社訪問したダイエーに入社しました。配属先は本人記入欄に記載しないで提出したところ、人事部の女性が困っていたので当時一番強い部門が良いと思い記載しましたが…「TVCMでステーキが流れていた事を思い出して」なんとなく精肉部門を希望。この事は20代時は非常に後悔したのですが、その後サラリーマン人生から判断すると良かったように思います。衣料品・生活用品は昇進も早く当時3年で売場主任に昇進。精肉部門は技術の習得に時間がかかる為、同期の中では一番遅く主任に昇進したのが6年後という状況で、モチベーションの維持に苦心しました。

日々肉体労働で朝早くから一日中仕事場を走り回っていましたが、現場の重要性(商売の基本)を20代で学んだように思います。20代半ばで当時竹岸食肉専門学校に派遣されましたが、ベニマルの真塩社長とは同

学年の記憶があります(陸軍中野学校の教官が教育システムを構築した学校で将来の食肉業界発展の為に人材育成を目的とした全寮制教育システム…全体主義・人格教育等が特徴)。ここで各企業から派遣されているメンバーの真摯な取り組み姿勢に今までの自分の仕事に対する姿勢を反省する機会を得たように思います。

30代で本社勤務。商品部の一員として仕入れ業務を中心に業務習得しました。全国産地の出張(海外も含めて)システム構築、物流センター立ち上げ、教育制度作成等の様々な業務を経験させて頂きました。出張が多かったのですがそんな中、日本の各地の風習の違いを各地で学び、地域特性把握の重要性を学びました。

(例) 福島のお盆。花を入れる野立は非常に特徴があります。又多く花を供える事から花の消費支出は非常に高い金額…確か全国でトップクラスです。

40代で管理職に。45歳の時(ダイエーの業績悪化始まる)資本関係の無いあるSM再建の為に十数名派遣され、私は商品部長として約1年6ヶ月単身赴任しました。(その時民事再生に遭遇。会社存続の重要性を体感。又共に働く仲間の苦悩を身近で経験し、今後の仕事に活かす事を強く決意しました。)

50代で経営全般に携わる。南関東事業部長、北海道事業本部長、関東事業本部長、本社経営企画部門、プロジェクト等をその後中合社長として着任しています。中内会長、創業者の退任。新経営陣への対応。産業再生機構の経営管理後(現マイクロソフト会長樋口さん横浜市長市長林さん)商社丸紅から2人の社長、イオン社から2人の社長をお迎えしています。私自身は丸紅出身の桑原社長、イオン出身の川戸会長、村井社長、近澤社長の下で仕事をさせて頂き、非常に多くの事を学習し私自身の大きな財産を得る事ができました。

又、40代以降残念でしたが多くの仲間をリストラなどで失ってしまいました。私の同期250名ぐらいでしたが、多分10名もいないのではないかと思います。そのような中で今現在、中合の社長として仕事をさせて頂いている事に非常に感謝の気持ちを強くもっていますし、だからこそ自己の存在意義を明確化していく事に私に課せられた責務であることを認識しています。

中合の話させて頂きます。函館・棒二百貨店、山形・十字屋、八戸・三春屋、福島・中合の4店舗で構成されており、福島店(中合)は旗艦店舗になります。百貨店業界は非常に厳しい数値状況であり更に地域百

貨店は更に厳しい状況です。インバウンド効果は少なく業界動向として衣料品、主力の特に婦人衣料大手ブランドの業績不振、今後もブランド撤退が継続していきます。従来型のビジネスモデルでは通用しない事は明白であり、今後中合が生き残っていく為には「変化」「変革」させていく事が絶対条件です。福島の皆様に愛され信頼される「中合百貨店」に成長していく為に新生プラン作成に入っています。中合の「のれん」を守りながら変えてはいけない事、変えるべき事のメリハリを明確につけて対応していきます。過去教育投資不十分な状況についても課題を認識しています。効率的な業務が出来ていない事により、お客様への対応不十分な事実を認識して少し時間が必要かもしれませんが対応していきます。地元の皆様の声を十分反映させた店舗を作っていくと思います。特にロータリー会員の皆様の声を大切にしていきます。本当に忌憚の無

いご意見等遠慮なくどんどん申し付け下さい。

最後に福島元気ウォン（福島ユナイテッドFC）の紹介をさせていただきます。

2016年度6月度スタートしました。株式会社AC福島ユナイテッドと福島市とイオン株式会社が提携し、サッカーを通じたクラブ・ホームタウンの地域振興に共同して取り組みます。ウォンのご利用金額の一部がクラブ活動に還元されます。

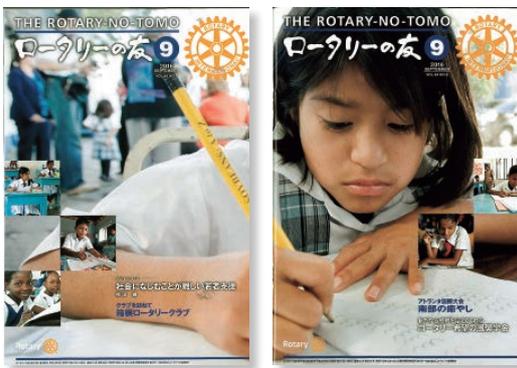
本日は会員の皆様に福島ユナイテッドと中合の協賛として「無料」で配布させていただきます。（ユナイテッド鈴木会員と折半で）

御利用頂ければ幸いですよろしくお願い致します。御清聴ありがとうございました。

委員会報告

『ロータリーの友9月号のご紹介

広報マルチメディア・雑誌小委員会 今井理基夫 委員



『ロータリーの友』9月号を紹介させていただきます。

1. まず、横書きの8頁と9頁には、国際ロータリークラブの公式雑誌である『The rotarian』と日本をはじめ30の地域雑誌が掲載されています。
2. 横書きの10頁ないし12頁には、『ロータリーの友』のサイズが7月号から従来のB5版からA4版に変わったことと内容も変わりつつあることが紹介されています。
3. 横書きの11頁には『ロータリーの友』の記事を毎月の第1例会日に紹介している埼玉県のクラブの試みが掲載されています。
4. 横書きの15頁ないし23頁には、来年6月10日から同月14日まで開催される国際ロータリー年次大会の開催地米国アトランタの紹介記事が載っています。

5. 横書きの28頁ないし31頁には、アフリカのブルキナファソとフィリピンのマニラでロータリー財団の補助金を利用して行われた識字教育に関する記事が載っています。

6. 縦書きの4頁ないし8頁には、大学教授であり、臨床心理士である会員の「社会になじむことが難しい若者支援」という論考が載っています。内容を簡単に要約することは難しいですが、「引きこもり」を例にして、「引きこもり」が社会的に問題であるとか、「引きこもり」の人が社会的弱者であると考えることが問題であり、「引きこもり」の人の中にもその後社会的に成功している人もあり、「引きこもり」を解決できる色々な方法があると考えることが大事であり、それが解決策に繋がるという趣旨を述べておられます。

7. 縦書きの17頁には、内科医師の会員の「死にざま生きざま」というエッセイが載っています。大変峻険に富んだ内容です。



## お客様並びに来訪ロータリアン紹介

### ●米山奨学生

ヴァクアンジュン さん

### ●ゲスト

芳賀 裕 様 (福島中央RC)



## 9月誕生祝い ~おめでとうございます~



高倉 裕行 会員  
昭和36年9月3日

菅野 晋 会員  
昭和37年9月10日

白岩 康夫 会員  
昭和4年9月13日

勢島 昇 会員  
昭和22年9月21日

森岡 幸江 会員  
昭和35年9月25日

坪井 大雄 会員  
昭和34年9月26日

野原 邦亮 会員  
昭和50年9月26日

岩城 章 会員  
昭和25年9月28日

## ニコニコBOX報告 (報告)菅沼 裕 委員

本日のニコニコBOX投入額 38件 ¥76,000 累計 ¥611,000

### 古俣 猛 会長

清々しい季節となってまいりました。朝晩涼しく思わず寝坊しそうになります。本日の黒崎浩一新会員のスピーチ楽しみです。本日も皆様宜しくお願い致します。

### 加藤義朋 会員

米山委員会セミナーへ参加された菅野幹事、金子米山委員長に敬意を表します。お盆休みに娘二人が帰福し、楽しく過ごしました。

### 茂田士郎 会員

ばんぱひろふみの「いちご白書をもう一度」という歌を覚えていますか？

昭和40年代に中年にさしかかった男が学生運動などを少しやった若者の時代を思い出して自分の心変わりを嘆く歌で、当会の元会員で今は亡き加藤桂一郎先生のカラオケでの十八番(おはこ)でした。

### 白岩康夫 会員

誕生祝いありがとうございます。昨夜駐日ベトナム大使館で独立記念祝賀会があり出席して参りました。クオン大使のあいさつの後、二階俊博自民党幹事長、世耕弘成経産

## 幹事報告

### その他のお知らせ

- 9/3(土) 地区国際奉仕セミナーが郡山にて開催されます。菅野幹事が出席してまいります
- 本日午後6時30分より、辰巳屋において9月理事会が開催されます。役員・理事の皆様、宜しくお申し上げます。
- 10/6(木) クラブ新会員セミナーが開催されます。該当者にご案内致しますがその他ご希望の方も受講歓迎致しますのでお申し出下さい。尚セミナー終了後は理事会メンバーとの懇親会も予定されておりますのでお知らせ致します。
- 9/25(日) 開催されます2530地区大会参加者はお陰様をもちまして34名の参加を頂いております。尚、新会員の皆様方、まだ受け付けておりますのでお申し込みをお待ちしております。

## 私のひとこと

浦部 博 会員



S11年生まれ、さすがに、最近年をとったと思う。

しかし、先日ある文章が目にとまった。たしかに、老人は、昔と同じに働くことは出来なくなるが、人のために働けば、まだ成長できる・というのだ。

年とともに欲を離れ、助言者として、判断に狂いがなくなり、以前より優れた助言ができる。かつ、知恵と親身さを併せ持てば、最高の仕事ができる。というのだ。ただし、それには謙虚さが必要だろう。古い、ギリシャの格言がついていた。

1. 子どもの時には節度を学ぶ
  2. 成人になったら感情を抑制することを学ぶ
  3. 中年になったら正義を学ぶ
  4. 老年になったらよき助言者となることを学ぶ
  5. 最後に悔いなく死ぬことである
- さて、そうなれるだろうか。

大臣の祝辞があり日本政府としても日越関係を重視している姿勢をしめしておりました。

### 糠澤修一 会員

ウルウ年のことは、二百十日が昨8月31日、奇しくも東日本大震災から2000日目でございます。"ふくしまの秋"が実り多いものでありますように。そして地域の再生に一層のはずみが付きますように。

### 佐藤朋幸 会員

日曜日に伊達ももの里マラソンでは、無事に10km完走出来ました。タイムも去年を上回り充実でした。

他クラブ会員より／林 隆壽／山内 功／幡 研一／内池 浩／辺見哲郎／反後太郎／三木エリカ／久保田吉朗／野原邦亮／霧丸直久／加納武志／坪井大雄／吉田大樹／菅野 晋／今井理基夫／江刺家宏樹／八子英器／丹治 正博／児玉健夫／岡田新也／安藤健次郎／五阿弥宏安／井上賢司／相良元章／氏川守義／黒崎浩一／菅野裕一／勝見浩二／佐藤英典／田沼紀美子／増子 勉／菅沼 裕